

広報誌で紹介した写真またはデータを希望者に提供します。

お申し込み 情報課広報広聴係

☎23-3069

話題

NEWS

町除排雪事業説明会を開催

(11月15日～30日)

町では、排雪を実施している地域の町内会を対象に除排雪事業についての住民説明会を行いました。

当別は従前より近隣の市町村と比較しても、充実した除雪体制を取っておりましたが、町の厳しい財政状況、原油価格、車両借上料の高騰などから、幹線道路の確保といった除雪業務の実施は維持出来るものの、昨年並の豪雪になった場合には生活道路の排雪が困難になって来ると予想しています。

このため、冬の生活を快適に送ることができるように、札幌市等で実施している、町と住民とが協力して地域の生活道路の排雪を実施する「パートナーシップ」という手法を取り、1世帯あたり約2,800円の負担をいただくことで生活道路の排雪を実施することが出来ると提案し、今後の除排雪体制のあるべき姿について町民の皆様の考えをお伺いしました。



説明会では「負担が増える生活が不安」といった意見や「道路への雪出しの取り締まりや空き地の利用によって除排雪の経費を減らすことが可能になると思う」など多くの声が上がりました。

今後も町では様々な意見や他市町村の事例なども踏まえて除排雪体制の検討を図ります。(関連記事 14ページ)

思い出に残そう 蕨岱小学校・保育所

(11月5日)

平成19年3月をもって閉校、閉所が決まっている蕨岱小学校・保育所の閉校閉所記念式典が、児童たちや父母、同校・同所の同窓生や関係者が集まり、蕨岱小学校で開催されました。

児童たちの発表では、蕨岱小学校児童が南中ソーランを披露し、息が合った躍動感ある踊りに会場から大きな拍手が送られていました。

児童代表の挨拶は、児童会長で6年生の竹田遥花さんが務め「みなさんからもらった思い出を大切にしていきたい」と



力強く述べました。

式典終了後には、地域の方や児童たちが手を取り合って「翔け未来へ！大地に根をはる わらびっ子」と書かれた記念碑の除幕式が行なわれました。

平成19年度からは、保育所児童は東保育所に、蕨岱小の児童は当別小学校に通います。



秋に染まる 第57回当別町文化祭

(11月3日～5日)



町内で文化活動を行う方や団体が活動を広く町民に知らせる発表の場として第57回当別町文化祭が開催されました。

総合体育館会場では絵画、写真、書道、生け花、菊花などの作品展示のほか、茶席も設けられ、白樺コミュニティセンターではカラオケ、舞踊など、西当別コミュニティセンターでは楽器の演奏、合唱などの音楽発表会と各会場ごとに盛り上がりました。

幅広い活動が発表された各会場は文化の香りで満たされ、大勢の来場者で賑わいました。



中学生から鋭い質問 当別こども議会 (11月2日)

中学生が町行政の仕組みを学習したり、当別のことに関心を持ち地域活動などに積極的に参加することを目的として開催されている当別町子ども議会は今年が第5回目になり、町内の中学校から22名の生徒が参加しました。

町議会と同様に町議会議員として当選証書の交付を受けた8名の「子ども議員」からは、まちづくりについての考え方やコミュニティバスの運行や道路問題など、日頃から関心を持っている町の施策についての質問が出され、町長が答弁しました。



商工会女性部創立40周年

(11月19日)



当別町商工会女性部の創立40周年記念式典・祝賀会がステラホールを会場に開催されました。

同女性部は女性ならではの心配りの行き届いたアイデアで町の活性化のために活動を続け、商工業振興はもとより、町のイベントへの協力や製品開発などで町の活性化を図って来ました。

式の中で石本留美子女性部長は「苦勞して作り、種を蒔くような気持ちで育てて来た『いも団子汁』は多くの方々の協力によって大きな成果を収めることができました。」と述べ、関係者への感謝と共に今後の更なる飛躍を誓っていました。